






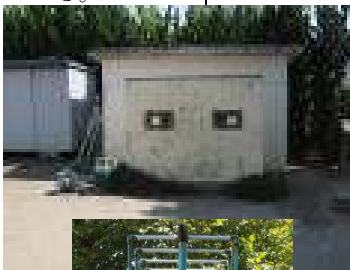

題材指導計画

題 材		第1・2学年 「てざわりハンター」 屋内で実施の場合 (全2時間)			
目 標	身近な素材(もの)のもっている手ざわりに関心をもち、積極的に触れたり、さわった感じの違いを見付けたりし、気に入った手ざわりをフロッタージュや簡単な文にして紹介ができる。				
評 価 規 準	関心・意欲・態度	身近な素材(もの)に関心をもち、その手ざわりを楽しんでいる。			
	鑑賞の能力	いろいろな素材(もの)の手ざわりの違いを感じ取り、好きな手ざわりを見付けて、他の児童に簡単な紹介ができる。			
〔共通事項〕		身近な素材(もの)から、自分の気に入った手ざわりや、形や感じ方の違いを発見し、自分のイメージをもつ。			
過 程	時 間	学習活動	具体の評価基準	評価方法	支援及び指導上の留意点 (口内は「みるナビ」の投入場面)
ふれる 直感的な見方で鑑賞する活動	1	1 身近な素材(もの)の手ざわりに関心をもち、手ざわりをフロッタージュで集めるやり方を知る。 ・教科書や資料を見て、どんなやり方でフロッタージュができるのか想像する。 ・教師の実演を見て、フロッタージュのやり方を知る。 ・ワークシートを使って、試行活動を行う。	○身近な素材(もの)の手ざわりに関心をもち、さわった感じをメモにして発表したり、手順を守って活動したりできている。	活動観察 ワークシート 	○題材への関心を高めるため、教科書や資料を使って、手ざわりをフロッタージュにして集めるやり方を紹介する。 ○フロッタージュのやり方が十分に理解できるよう、教師が実演して手順を示す。 ○児童が確実にフロッタージュができるように、ワークシート(表面:てざわりカード 裏面:フロッタージュカード)を用意し、順序を守って進めることを伝える。 ○感じ方の交流ができるよう、さわった感じを話し合う。 ○課題への意欲が高まるよう、活動の様子を賞賛する。
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>〔手ざわりカード〕の書き方</p> <p>①写したいものの手ざわりを確かめ、さわった感じをメモする。</p> <p>②さわったものや見つけた場所をメモする。</p> <p>③裏面にし、フロッタージュシートの準備をする。</p> <p>〔フロッタージュカード〕の書き方</p> <p>①シートを写したものの上に置き、手のマークの位置をしっかりと押さえる。</p> <p>②シートの下に写す手ざわりがあるか、さわって確認する。</p> <p>③パスをシートの矢印の方向に優しく動かす。</p> </div>	2 学習課題を知る。		
学習課題 おきにいの てざわりを みつけて、フロッタージュで あつめよう					
たしかめる 観察的な見方で鑑賞する活動		3 身近な素材(もの)から、いろいろな手ざわりを探して、気に入ったものをフロッタージュにして表す。 ・気に入った手ざわりを、ワークシートに2種類フロッタージュする。	○身近な素材(もの)を何度もさわって確かめながら、気に入ったものをフロッタージュにしている。	活動観察 ワークシート 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>児童が進んで様々な手ざわりを見付けることができるよう、素材のサンプルと探すポイントを載せた「みるナビ」みる①を取り入れる。</p> </div> <p>○いろいろな手ざわりを確かめられるよう、手ざわりの違う身近な素材(もの)を数種、班ごとに用意する。</p>
ふかめる 交流を通して自分とは違った見方で鑑賞する活動	1	4 フロッタージュを、カルタやコレクションにして、感じ方を交流することを知る。 ・ワークシートの、てざわりカードとフロッタージュカードを切り分ける。 ・フロッタージュカルタのやり方を知り、班ごとに交流する。	○カルタやコレクションで交流を楽しみながら、他の児童の感じ方に共感をしたり、感じ方の違いに気付いたりしている。	活動観察 	○交流のめあてがもてるよう、作品で遊んだりコレクションにまとめたりして紹介し合うことを伝える。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>互いの作品が、何をフロッタージュしたものか想像して遊んだり、紹介したりできるよう、交流の仕方を載せた「みるナビ」みる②を取り入れる。</p> </div> <p>○フロッタージュカルタのやり方が理解できるよう、教師が出題者になって実演する。 ○順序を守って交流ができるよう、教師が進行役をする。 ○てざわりカードとフロッタージュカードをコレクションにまとめられるよう、台紙を児童数分用意する。 ○いろいろな感じ方に気付けるよう、席を離れて全体で交流する。 ○さらに全体の交流が図れるよう、作品を教室内に掲示することを知らせる。</p>
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>フロッタージュカルタの手順</p> <p>①2枚のフロッタージュのどちらをカルタにするか決める。</p> <p>②机の上に、てざわりカードを読みながら並べる。</p> <p>③フロッタージュカードを見せて「私のお気に入りの手ざわりは、どっちでしょう?」と聞く。</p> <p>他の児童は「せーの」で、カードを指差す。</p> <p>④答えを発表し、お気に入りの理由を言う。</p> <p>⑤次の児童と役割を交代する。</p> </div>	5 学習のまとめをする。 ・振り返りシートに感想を記入し、発表する。	○学習で感じたことを、素直に記入している。	振り返りシート
準備		(教師) 提示用資料、ワークシート(表面:てざわりカード 裏面:フロッタージュカード)、パス、身近な素材(ラケット滑り止め、蚊取り線香、CD、板材、テープなど)、鑑賞支援資料「みるナビ」、コレクション用台紙、振り返りシート			

題材指導計画

題 材		第1・2学年 「てざわりハンター」 屋外で実施の場合 (全2時間)			
目標	身近な素材(もの)のもっている手ざわりに関心をもち、積極的に触れたり、さわった感じの違いを見付けたりし、気に入った手ざわりをフロッタージュや簡単な文にして紹介ができる。				
評価規準	関心・意欲・態度	身近な素材(もの)に関心をもち、さわった感じの違いを見付けたり、気に入った手ざわりをフロッタージュや簡単な文にして紹介ができる。			
	鑑賞の能力	いろいろな素材(もの)の手ざわりの違いを感じ取り、好きな手ざわりを見付けて、他の児童に簡単な紹介ができる。			
〔共通事項〕		身近な素材(もの)から、自分の気に入った手ざわりや、形や感じ方の違いを発見し、自分のイメージをもつ。			
過程	時間	学習活動	具体的評価規準	評価方法	支援及び指導上の留意点 (口内は「みるナビ」の投入場面)
ふれる 直感的な見方で鑑賞する活動	1	1 身近な素材(もの)の手ざわりに関心をもち、手ざわりをフロッタージュで集めるやり方を知る。 ・教科書や資料を見て、どんなやり方でフロッタージュができるのか想像する。 ・教師の実演を見て、フロッタージュのやり方を知る。 ・ワークシートを使って、試行活動を行う。	○身近な素材(もの)の手ざわりに関心をもち、さわった感じをメモにして発表したり、手順を守って活動したりできている。	活動観察 ワークシート 	○題材への関心を高めるため、教科書や資料を使って、手ざわりをフロッタージュにして集めるやり方を紹介する。 ○フロッタージュのやり方が十分に理解できるよう、教師が実演して手順を示す。 ○児童が確実にフロッタージュができるように、ワークシート(表面:てざわりカード 裏面:フロッタージュカード)を用意し、順序を守って進めることを伝える。 ○感じ方の交流ができるよう、さわった感じを話し合う。
		2 学習課題を知る。			○課題への意欲が高まるよう、活動の様子を賞賛する。
学習課題 おきにいりの てざわりを みつけて、フロッタージュで あつめよう					
たしかめる 観察的な見方で鑑賞する活動		3 校庭にあるものから、いろいろな手ざわりを探して、気に入ったものをフロッタージュにして表す。 ・気に入った手ざわりを、ワークシートに2種類フロッタージュする。	○校庭で見付けた手ざわりを、何度もさわって確かめながら、気に入ったものをフロッタージュにしている。	活動観察 ワークシート 	児童が進んで様々な手ざわりを見付けることができるよう、素材のサンプルと探すポイントを載せた「みるナビ」みる①を取り入れる。 ○安全を守って活動できるよう、行動の注意を確認する。
ふかめる 交流を通して自分とは違った見方で鑑賞する活動	1	4 フロッタージュを、カルタやコレクションにして、感じ方を交流することを知る。 ・ワークシートの、てざわりカードとフロッタージュカードを切り分ける。 ・フロッタージュカルタのやり方を知り、班ごとに交流する。	○カルタやコレクションで交流を楽しみながら、他の児童の感じ方に共感をしたり、感じ方の違いに気付いたりしている。	活動観察 	○交流のめあてがもてるよう、作品で遊んだりコレクションにまとめたりして紹介し合うことを伝える。 互いの作品が、何をフロッタージュしたものか想像して遊んだり、紹介したりできるよう、交流の仕方を載せた「みるナビ」みる②を取り入れる。 ○フロッタージュカルタのやり方が理解できるよう、教師が出題者になって実演する。 ○順序を守って交流ができるよう、教師が進行役をする。 ○てざわりカードとフロッタージュカードをコレクションにまとめられるよう、台紙を児童数分用意する。
5 学習のまとめをする。 ・振り返りシートに感想を記入し、発表する。		○学習で感じたことを、素直に記入している。	振り返りシート	○いろいろな感じ方に気付けるよう、席を離れて全体で交流する。 ○さらに全体の交流が図れるよう、作品を教室内に掲示することを知らせる。	
準備	(教師) 提示用資料、ワークシート(表面:てざわりカード 裏面:フロッタージュカード)、パス、鑑賞支援資料「みるナビ」、コレクション用台紙、振り返りシート				

題材指導計画

題 材		第3・4学年 「アートなけしきを発見し隊」(全2時間)			
目標	見る向きや角度や高さ、見る意識を変えることで、身近な場所の景色から楽しさや美しさを感じられることに気付く、気に入った景色をカメラで撮影して紹介し合う。				
評価 規 準	関心・意欲・態度	身近な景色に関心を持ち、いろいろな見方で楽しさや美しさを見付けようとしている。			
	鑑賞の能力	自分なりの見方で身近な景色から想像したことや、撮影した写真や発見場所を紹介し合い、いろいろな見方や感じ方に気付くことができる。			
〔共通事項〕		身近な風景の形や色から造形的な特徴をとらえ、楽しさや美しさについて、自分のイメージをもつ。			
過程	時間	学習活動	具体的評価規準	評価方法	支援及び指導上の留意点 (口内は「みるナビ」の投入場面)
ふ れ る 直 感 的 な 見 方 で 鑑 賞 す る 活 動	1	1 見方を変えることで、身近な場所の景色から、楽しさや美しさを感じることができることに気付く。 ・教師の用意した写真を見ながら、何を写したか、何に見えるかを話し合う。 ・形が広がっていく。 ・人の顔に見える。 ・きれい。	○題材に関心を持ち、進んで話し合いに参加している。 	活動観察	○活動への関心を高めるため、日本や外国、身近な場所の景色から、幾何学模様や顔に見えるもの、自然の造形などを紹介する。 ○楽しさや美しさ感じたり見方の違いを比べたりできるよう、遠景→近景、そのまま→目玉付きなど、一つの風景に2種類の写真を用意する。 ○向きや角度、高さなどを変えることで普段と見え方が変わること気付けるよう、教師が撮影した校舎や遊具などの写真を紹介する。 ○本時の課題を伝える。
		2 学習課題を知る。	学習課題 見方を変えて、○○小のアートなけしきを発見しよう		
た し か め る 観 察 的 な 見 方 で 鑑 賞 す る 活 動	3	3 校舎内や校庭から、アートな景色を探す。 ・デジタルカメラを使う。 ・アートな景色を見付けるポイントを知る。 ①同じ形が連続している ②両目と鼻(口)にあたるものが配置されている ③植物や虫がいそう ・見方を変えるためのポイントを知る。 ①向きや角度を変えて見る ②高さを変えて見る ③カメラのファインダーで確かめて見る ・気に入った景色を探す。 ・発見メモの項目に沿って、見付けた場所や想像したことなどを記録する。 ・次時に向けて、紹介したい景色を一人一つ決める。	○向きや角度、高さなどを変えて、確かめながら気に入った景色を探している。  	活動観察 発見メモ	○相談しながら気に入った景色を見つめることができるよう、班で行動するよう伝える。 児童が想像を働かせて鑑賞できるように、気に入った景色を見付けるポイントや、向きや角度、高さなど、見方を変えるポイントを示した「みるナビ」みる①を取り入れる。 ○発表時に、楽しさや美しさを感じたり見方の違いを比べたりできるよう、遠景→近景、そのまま→目玉付きなど、一つの風景に2種類の写真を撮影するよう伝える。 ○見付けた場所や想像したことなどを記録できるよう、発見メモを配布する。 ○決まりや安全を守って活動できるように活動の注意を確認する。 ○気に入った景色の紹介ができるよう、班のなかで同じ景色の重複があってもよいことを伝える。
		4 アートな景色の紹介をする。 ・班ごとに順番に紹介を行う。 ・感想や意見を交流する。	○交流を楽しみながら、友だちの見付けた景色の楽しさや美しさに気付いている。	活動観察	○気に入った景色を紹介できるよう、発見メモをもとに紹介の準備をする。 交流の進め方をガイドした「みるナビ」みる②を取り入れることで、自分と他の児童の考えや想像を比べながら鑑賞できるようにする。 ○全体の交流が活発に図れるよう、写真をプロジェクターで大きく映す。 ○全体の交流が図れるよう、写真と発表メモを台紙に貼り、教室に掲示する。
ふ か め る 鑑 賞 す る 活 動	5	5 学習のまとめをする。 ・振り返りシートに交流の感想をまとめ、発表する。 ・写真とメモを台紙に貼る。	○学習で感じたことを、進んで記入している。	活動観察 振り返りシート	
		準備	(教師) デジタルカメラ、プロジェクター、鑑賞支援資料「みるナビ」、発見メモ、振り返りシート、おもちゃの目玉(大・小) (児童) 筆記用具		

題材指導計画

題 材		第5・6学年 「アート・レポーターになろう」(全2時間)			
目 標	日本や諸外国の美術作品に関心を持ち、表現されているものから想像したことなどを、アート・レポーターの役割になって紹介したり話し合ったりしながら、作品から伝わるよさや美しさを感じ取ることができる。				
評 価	関心・意欲・態度	日本や諸外国の美術作品に関心をもって、見ることを楽しんでいる。			
規 準	鑑賞の能力	日本や諸外国の美術作品の、形や色から感じ取ったことを、簡単な文章に表して紹介し合いながら、表現のよさや特徴に気付くことができる。			
〔共通事項〕		日本や諸外国の美術作品の、表現された形や色から造形的な特徴をとらえ、そのよさや美しさについて、自分のイメージをもつ。			
過 程	時 間	学 習 活 動	具 体 的 評 価 規 準	評 価 方 法	支 援 及 び 指 導 上 の 留 意 点 (口内は「みるナビ」の投入場面)
ふれる 直感的な見方で鑑賞する活動	1	1 アート・レポーターの役割に関心をもつ。	○進んで話し合いに参加している。 	活動観察	○アート・レポーターの役割に関心をもてるようにするため、教科書の資料やギャラリートークの写真を紹介する。 ○美術作品の鑑賞への関心を高めるため、アートカードを使ったゲームやクイズで、鑑賞する。 ○課題に意欲がもてるように、辞令を読んで児童をアート・レポーターに任命する。
		2 日本や諸外国の、美術作品の表現に関心をもつ。 ・ゲームやクイズで鑑賞を楽しむ。 3 学習課題を知る。			
学習課題 即席アート・レポーターになって、我が国や諸外国の美術作品を紹介しよう					
たしかめる 観察的な見方で鑑賞する活動		4 即席アート・レポーターになって、美術作品を紹介する準備をする。 ・アート・カードの中から担当する美術作品を決める。 ・教科書の図版を鑑賞して、感じたことを発表し合う。 ・「みるナビ」で集めた意見を分け、鑑賞の観点を定める。 ①色や形の様子、作品に表されているもの ②画面のなかで起きている事 ③登場人物の様子、気持ち ④気になる、不思議なところ ⑤描かれた時代、作者の出身地 ・担当する美術作品を鑑賞し、感じとったことをレポーターメモに書く。 	○担当する美術作品を鑑賞して、表現から感じ取ったことを、簡単な文章に表している。 	活動観察 レポートメモ	○児童の想像が広がるよう、特徴が見つけやすいアートカードを複数選んでおく。 ○用意したアートカードを全員が鑑賞できるよう、作品を1枚にまとめたポスターを配る。 ○活動に期待をもてるよう、くじで担当する作品を決め、他の児童に秘密にする。 ○鑑賞の観点を定めるため、全員で教科書の図版を鑑賞する試行活動を行う。 どんな見方をしたらよいのか、観点を示した「みるナビ」みる①を取り入れることで、児童が自分なりの見方で考えたり想像を働かせたりしながら鑑賞できるようにする。 ○どの作品の紹介なのか推理する楽しみをもたせるため、画面に表された人やものの数を書くことは制限する。
ふかめる 交流を通して自分とは違った見方で鑑賞する活動	1	5 アート・レポーターになって美術作品を紹介し合う。 ・交流の順序を知る。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">アート・レポーターの紹介と交流の手順 ①いつの時代の作品か ⑤作品名。 ②作家の出身地 ⑥どの絵の紹介と思ったか観客に聞く ③使われている色 ⑦作品の番号を発表し、質問を聞く ④作品の紹介 ⑧即興的に鑑賞して質問に答える</div> ・「みるナビ」を使って、交流の働きを知る。 ・アート・レポーター役、観客役に分かれて交流する。 ・観客役の児童は、紹介された内容について、質問をする。 	○形や色について質問したり答えたりする交流を楽しみながら、自分とは違う見方や考え方に気付いている。 ○交流を通して気付いた見方や考え方を記入している。	活動観察 ワークシート	○全員の発表が行えるよう、班に分かれて交流を行う。 ○活発な交流が行えるよう、発表の順序や発言例を掲示する。 ○作品を見ながら考えたり想像したりできるよう、作品を1枚にまとめたポスターを見ながら交流する。 交流の進め方をガイドした「みるナビ」みる②を取り入れることで、自分と他の児童の見方や感じ方を比べながら鑑賞できるようにする。 ○全体で活動を深められるように、活発に交流が行えている班を、全体の前で再現して紹介する。 ○新たな気付きがもてるよう、質問の場面を設けて、再び鑑賞を行えるようにする。 ○さらに全体の交流が図れるようワークシートと図版を教室内に掲示することを知らせる。
準備	(教師) プロジェクター、アートカード、美術館長の辞令、作品を1枚にまとめたポスター、鑑賞支援資料「みるナビ」、レポートメモ、ワークシート				